

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

放課後等デイサービスポコアポコ 田辺教室

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		利用児童の特性や人数に応じたスペースの確保を継続し、動線の見直しや環境調整を適宜行う。
	2 職員の配置数は適切であるか		○		職員配置は基準を満たすだけでなく、安全面、支援の質の向上を意識した配置を検討する。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		バリアフリーや設備面について定期的に点検し、必要に応じて改善を行う。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		PDCAサイクルを意識し、職員間での振り返りと共有を強化している。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		アンケート調査を行い、保護者の意向の把握、改善に努めている。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自己評価結果をホームページで公表している。今後は周知方法の工夫を強化する。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後は検討し、支援の質向上に努める。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部研修を実施している。外部研修にも積極的に参加している。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			アセスメントに基づき個々のニーズに応じた個別計画を作成している。
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			収集すべき項目を記入したアセスメントシートを作成し、児童一人ひとりの状況把握に努めている。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動プログラムの内容が偏らないように、チームで考えている。子どもの成長を促す支援を実施している。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			活動プログラムの固定化を防ぐため、定期的に見直しや新規活動の導入を行う。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			休日、長期休暇の1日利用の日は特に、充実した活動が出来るように、プログラムを考えている。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			基本的には集団活動をメインとした活動をしている。今後は子どもの成長に応じた柔軟な組み合わせを強化する。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝ミーティング等で、情報共有している。また支援内容、役割分担を確認している。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		支援後の振り返りを行っている。今後は記録として残し、継続的な改善につなげる。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の記録を徹底している。今後は記録の質の向上と共有の迅速化を図る。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		定期的に行っている。計画の進捗状況や見直しも都度行い、職員全員に周知している。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		複数の活動を組み合わせさせた支援を実施している。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○	相談支援専門員との連携を図っている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校や関係機関との情報共有を密にし、連携体制の強化を図る。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在は医療的ケアを必要とする児童の利用がない。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		関係機関との引継ぎを行っている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	移行時の情報提供を実施している。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	今後は児童館や地域行事への参加を検討し、交流の機会を増やしていく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○		障害者自立支援協議会・発達部会に参加している。今後も継続的に関わる。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日々の連絡や面談を通して、保護者との情報共有と信頼関係の構築に努めている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	保護者同士の交流機会については、ニーズを踏まえながら開催方法を検討していく。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に丁寧な説明を心がけている。今後もわかりやすい説明を心がける。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護からの相談には迅速、適切に対応している。。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	今後は保護者同士の交流支援を行っていきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情対応体制を整備し、迅速かつ丁寧な対応を継続していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			日々の活動の様子を、ブログ等で保護者に発信している。その際は個人が特定できないよう、個人情報には十分配慮している。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報の取り扱いについて職員間で周知徹底している。

区分	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			一人ひとりの状態に応じて、筆談や視覚的教材等を活用し意思疎通や情報伝達に努めている。
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		今後、検討していきたい。
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		各種マニュアルの周知と定期的な見直しを行う。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練を実施している。今後も実践的な訓練を行う。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			外部研修等に参加し、適切な対応が出来るように努めている。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			該当事例がないが、身体拘束については適切な判断と事前説明の徹底を職員間に周知している。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			職員間で情報共有を徹底し安全に配慮している。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	ヒヤリハット事例の収集、共有を強化し、再発防止策の検討と職員間の意識向上を図る。